

### 第3回 大宮地区学校適正配置地元代表協議会議事要旨

1 日 時 平成31年3月16日(土) 13時15分～15時15分

2 会 場 大宮台自治会館 2階和室

#### 3 出席者

(1) 委 員 10人

(2) 事務局 5人 \*教育委員会 企画課 伊原課長、古屋課長補佐、岩脇管理主事  
吉田主任主事、宇野澤主任主事

(3) 傍聴者 11人

#### 4 報告・議題

- (1) 【報告1】各団体より(前回協議会以降の動き)
- (2) 【議題1】大宮地区学校適正配置(修正案)について
- (3) 【議題2】統合校の議決の方法について
- (4) 【議題3】次回開催日時・場所

#### 5 会議資料

- (1) 資料1:「大宮地区学校適正配置(修正案)について」
- (2) 資料2:「統合校の議決の方法について」

#### 6 議事の概要

##### (1) 【報告1】各団体より(前回協議会以降の動き)

事務局からは、前回協議会后に寄せられた質問とその回答内容について報告した。学校関係では前回協議会以降にPTAで協議を行った団体はなかったが、個別に意見や質問等が寄せられていることが報告された。地域関係では、北大宮台自治会と平山町内会の地域の会合で学校適正配置について議題になったことが報告された。

##### (2) 【議題1】大宮地区学校適正配置(修正案)について

資料に沿って事務局が説明を行った。前回提示した学校適正配置(案)を修正し、2つの小学校を統合した場合の案を提示した。どちらの案になっても、大宮中学校が全校3学級になる場合に、小中一貫校化の検討を行うこととした。

##### (3) 【議題2】統合校の議決の方法について

議決の方法として、「過半数」、「3分の2以上」、「全会一致」のいずれかにより決定をしていくことが確認された。また、決定に先立ち、各委員の意見陳述と質疑を踏まえて議決を行うことが確認された。

##### (4) 【議題3】次回開催日時・場所について

今回の協議内容について、各委員が各所属団体で意見集約を行い、次回協議会で再度協議することとなった。

## 7 発言要旨

### (1) 会長挨拶（廣瀬会長）

これまでの質疑を深めていただき、事務局への質問を通して委員の方々の理解も深まってきていることと思う。これからは各委員の考えを十分に伝えていただき、協議会としての結論へつなげていきたい。必ずしもすぐに結論が出るものではないと思うが、わかりやすく協議を進めていきたい。

### (2) 協 議

#### 報告① 各団体からの報告（前回協議会以降の動き）について

〈廣瀬議長〉 まずは事務局、各団体からの報告を行う。

〈事務局〉 前回の協議会の後に、何人かの保護者や地域の方々から、ご質問やご意見があったのでご報告する。1点目は、大宮地区地元代表協議会の委員の構成について質問があった。構成メンバーを見ると大宮台小側に偏っているのではないかとのご質問であったが、次のように回答している。構成メンバー決定のプロセスについては、教育委員会が策定した「第3次千葉市学校適正規模・適正配置実施方針」に沿って地元代表協議会正副会長がメンバーを推薦し、大宮地区地元説明会で承認されたメンバーで構成している。メンバー構成は、学区児童数の割合からメンバー構成を決めているわけではなく、様々な立場から建設的なご意見をいただけるメンバーを推薦していただいていると回答した。2点目は、議事の進行の仕方や、開催のペースに関する要望があった。例えば、じっくり時間をかけて協議会をしてほしい、多数決ではなく満場一致という形で統合校を決定してほしい等の要望であった。これらの意見は既に正副会長にも伝えているが、十分に参考にし、今後の協議会を運営していきたい。その他、統合校の通学路の安全に関する質問や、避難所としての収容人数はどうか、夜間や休日のグラウンド、体育館の使用は大丈夫か等といった問い合わせがあったが、関係部署と情報を共有し、それぞれに回答をしている。

〈廣瀬議長〉 回答書を確認したが、回答内容の詳細については今後検討が必要であると思われるが、行政の回答としては妥当なものだろう。気になったのは、学校の避難所としての収容や夜間休日の利用に関して回答されているが、今回の協議は学校適正配置の観点を中心であることから、極論では寧ろ回答しなくても良いくらいだと思う。それでは、次に各学校からの報告をお願いします。

〈鹿倉委員〉 第2回協議会以後から現在まで、大宮小ではPTAで協議をしてまとめたご意見を読み上げてご報告する。

- ・そもそも委員の選出方法に疑問がある。地域の説明会で委員選出をすることについて事前に連絡がなく、決定後の報告も地域になされていない。これからの委員選出について、第1回協議会で各代表者が選出された。第2回協議会で委員が所属団体の代表を辞めることになったとしても、新年度同じ委員に参加を依頼するような話があったが、それであれば本来の趣旨である各代表が出席することにはならないのではないかと。
- ・幼稚園、保育園やいきいきセンターなど地域にも説明は行っているのかどうか。全てにおいて地域への説明が不足しており、説明義務があるのではないかと。
- ・なぜ協議を急ぐのか。統合の前にもっと地域で連携するイベントや行事等を行い、コミュニケーションを深めてからでも良いのではないかと。
- ・これまでの協議をみていると、事前にシナリオができていないのではないかと感じてしまう。
- ・前回の質問や意見に対しての説明が行われていない。今回の質問や意見に対してもしつ

かりとした回答がほしい。

大宮小としては保護者の方々には特に話は聞けていない。理由として、昨日開催された卒業式に向けた準備を重点的に考えなければいけない時期であったためである。そのためご意見が伺えたのは、あくまで役員や個人レベルで話した程度であるので、ご了承いただきたい。

〈廣瀬議長〉 ご質問は同一の方から寄せられたものか。前回出されたご質問には既に回答がされていると認識している。

〈鹿倉委員〉 別の役員から寄せられている。

〈廣瀬議長〉 ご意見を要約するともっと説明がほしいということになるか。

〈鹿倉委員〉 お話を伺っている中では、もっと説明すべきで時間をかけても良い、結論を急ぐことによっていざこざが解決せずに統合し、それから問題が出るようなことは避けたい、意見交換やコミュニケーションや連携をしっかりとってからというご意見が多かった。

〈廣瀬議長〉 前回の協議会でもお話したが、各所属団体でもってしっかり説明していただくという話になっていたので、協議を深めていただくのは結構なことだと思う。ただ、個人的には委員会の説明ではどういう風だったという形で伝えるのは控えていただきたい。あくまで客観的な説明としてはこうだということを念頭に置いて対応してほしい。

〈鹿児島委員〉 第2回以降特にPTAで協議はしていないし、集まってもいない。先ほど議長からもあったように、PTAというよりこの代表者会議の委員として選出されている以上、協議会で出ている議題について、良い答えが出せるように自分なりに考えていきたい。また、決まったことをどう報告をしていくかを考えていきたい。

〈伊藤委員〉 中学校としては特に協議は行っていない。ただし、新年度に入ってから、アンケートを実施して保護者の意見をまとめていきたいと思っている。個人的には、個々の方から適正配置についてお願いや質問等を伺っている。

〈前田副会長〉 中学校の保護者全員にアンケートを実施するのか。

〈伊藤委員〉 大宮小の顧問も務めているので、小学校の保護者からも意見を伺っている。

〈前田副会長〉 中学校だけではなく小学校からもアンケートをとるのか。

〈伊藤委員〉 小学校のアンケートはまだわからないが、中学校では実施する。ただ、質問やご意見等は小学校や中学校含めて保護者等からも伺っていることはご報告する。

〈廣瀬議長〉 質問や意見とは具体的にはどのようなことか。

〈伊藤委員〉 具体的な質問内容については、先ほど事務局から報告があった通りであり、協議を急ぎすぎているのではないかとといったようなこと等を紙の資料でもいただいていた。資料として事務局へ提出して回答いただいたということと、口頭で何故適正配置が必要か、大宮小は必要性を感じていない、何故必要性がある学校の方に移らなければならないのかなど、まだ決定ではないことは伝えているが、ご意見として複数伺っている。

〈廣瀬議長〉 ご報告に関連するが、個人の推測や憶測、他人の噂話によって必ずしも適切でない質問やご意見が自分のところにも届いている。どのようなところから噂が出るのか分からず少々困惑するところもあるが、協議会ではあまりとらわれ過ぎずに協議を進めていきたい。あくまで、子どもの教育環境をどうするのが一番適切なのかを焦点にした議論やご発言をお願いしたい。他に委員の方からご報告はあるか。

〈宮崎委員〉 北大宮台自治会では、3月3日に地域で意見交換会を行い、荒天であったが14名の参加があった。発言等も多く、参加者の関心は高かったと感じている。その中で、話題になったのは、なぜ統合を行うのか、適正とは何か、少人数でも良いというご意見が多かった。一人ひとりの子どもたちにしっかり目が向いて、子ども同士の仲も良くなり、大勢の人数がいることが適正なのかといった、統合の大前提となる適正配置の必要性に関して合意が

できていないと感じているという意見が多かった。そもそも学区が要らないのではないかという意見もあった。また、地域コミュニティについての話も出た。地域コミュニティの核となる商店街や公共施設が中心になることで、街として発展する。そう考えると、現状大宮地区の中心はどこかと考えた場合、大宮台の真ん中であるということは皆さん賛同されていた。幼稚園や保育園等とも連携できる地域コミュニティということを考えて学校は設置されている。今は地理的な条件で最適な位置に設置できない場合もあるだろうが、大宮台に学校を作ったのはコミュニティ作りの先見の明があったのではないか。この状況をしっかりと考えて継続していくべきであろうということ皆賛同していた。また、現実の問題として、子どもルームへの送迎の利便性を考えると、一方では学区内には交通規制がされている区間がある、もう一方では町のどこからでも来やすいということも考えてほしいということがあった。意見交換の中でそれぞれ持論が展開されていたが、総意として議論を急ぎすぎている感があり、地道に合意形成を進めてほしいという意見が多かった。他の地区では何年もかけて納得して統合しているところもある。同じ地域に暮らす仲間として、後々に禍根を残すようなことはしたくない。

〈松坂委員〉 各委員から報告があったご意見の内容を伺っていると、地区の小学校の適正配置に関するスタートの部分についての理解や議論の仕方がバラバラだったように思う。確かに資料にあるとおり、来年度から大宮台小で複式学級が生じる可能性があることは、もっと早く地域に説明していただき、学校適正配置がなぜ必要なかを早めに知らせておきたかった。個々の意見がバラバラであったところから、議論が成熟してきて、統合校の場所を大宮台小にするのか大宮小にするのかが話題になってきた。通学のことなどを含めて様々な意見が出てきていると思う。1月19日の第1回協議会で協議された、学校適正配置の基本方針を整理して、皆でもっと理解しないとこの議論はまとまらないだろう。それぞれ地区のいろいろな方の意見を聞いていたら千差万別の内容であろうから、議論としてまとまらない。せつかく、代表委員として参加しているのであるから、それらの意見を参考にしながら、自分の意見をしっかりと述べるべきであると考えて。個人的には、少人数での教育には反対である。理由としては、人数が多い方がいろいろなコミュニケーションをとれるし、事務局の最初の説明にあったように、人間形成や教員との関係を含めて、人数が少なくなった学校の統合は必要だと思う。また、過去2回の議論の中で、中学校を残すという方向性が見えるのであれば、小中一貫教育校化を考えながら、基本線としては小学校の統合を協議しつつ、小中一貫校化を含めて検討を進めるべきである。個人的には、教育委員会もこういう方向が良いのではないかという案をもっと出していってもよいと思う。

〈本澤委員〉 地域で特段集まって話を聞くことはないが、普段の通学や保護者とお会いした時に、いろいろお話は伺っている。その中で、子どもが少ないのは、勉強はともかくとして、スポーツを行うには試合やチームが編制できない。本来であればクラス替えできる環境があるのが良いが難しいため、とにかく統合して人数が多くなるのが一番良いというご意見を多く伺っている。そのようなことを考えれば、個人的には統合していくことが望ましいと考える。中学校との一貫校化のお話もあった。両方の小学校で説明会を行っても参加者が少なかったように思う。協議が煮詰まってきた段階で、様々なご意見が出ている。地区住民の関心が高まるのは良いことだが、結論が合意されてから、前提を変えられるようなご意見が出てくるのではなかなかまとまらない。大人の問題もさることながら、あくまで子ども達にとっていかに良い環境づくりを行うかが一番重要だと思う。今後もそのことを意識していきたい。

〈加藤委員〉 3月10日に平山町内の会議で議題にあげたが、地区に関係している子どもがあまりいな

いせいか、あまり反応はなかった。統合校がどちらになるのかという関心のみであろう。個人的に考えるのは、今後は現在小学校に子どもが在籍している世帯より寧ろこれから小学校に就学する保育所や幼稚園の児童の保護者への説明会が重要だろう。

〈廣瀬議長〉 説明会を行わなかったからといって、幼稚園や保育園の保護者も自ら考え行動していただきたいとも思う。まず学校適正配置の議論が出ていることを知っていて、説明会がなかったからどうという問題ではないのではないかと思う。各委員からのご報告を総括すると、多かったのは協議を急ぎすぎているのではないかということだろう。個々の理由が明確ではないが、他の地区ではもっと時間がかかっているところもある。個人的には急ぎすぎているとは感じていないが、他の地区でもっと時間がかかっているから急ぎすぎていると感じられているのか、本当に正しいのかはわからない。ただ、大宮地区での議論の焦点は明快で、小学校をどのように統合して、そこに中学校をどのように結び付けていくかということのみだろう。その中で、子ども達の教育環境を最大限適切に確保していくことであろう。時期については今から元に戻すことは考えていない。合意形成については重要だとは思いますが、こだわりすぎると協議会が空中分解してしまうかもしれない。少なくとも決定を行ったあとに批判を受けることは、ある程度はやむを得ないことなのだろう。

〈伊藤委員〉 時期についてはともかくとして、議論のことについては個人的なご意見として承ったが、通学路の問題を始めとする統合に関する詳細な事項も含めることで、初めて統合の方向性が決定できる。施設の問題など、詳細についても議論に含めるべきである。細かいところまで配慮しないとなかなか決定まではできないと個人的に思う。追加として事務局に質問したいが、大宮台小は元々中学校用地として取得されたと思うが、大宮小の教室の不足に対応するため大宮台小が設置されたと伺っているが、事実関係はどうなのか。次回でもよいので教えてほしい。

〈廣瀬議長〉 ご指摘のあった設備面等の詳細については、協議会での議論の後でも統合準備会を組織して、この中で校歌や制服等について協議するものと理解している。そのような認識で良いか。

〈事務局〉 その通りである。統合準備会を設置し、学校関係・保護者代表・地域代表・教育委員会関係各課が集まって、統合に対する不安を解決するために協議を行うことになる。

〈廣瀬議長〉 その中で特に重要なことがあれば、学校適正配置に関する要望の案の中に盛り込んでいくことになるのだろう。例えば通学路の問題があるだろう。

〈鹿倉委員〉 今ご意見としても出たが、結局、統合の決定の後に詳細を協議するという流れに対して不安に感じている。例えば、スクールバスを通行させてほしいという要望を出していたとしても、統合が決定した後に協議を本格的に行うとする場合、後々で対応が難しいと言われても、統合自体は決まっていることになる。恐らく不安に思われているのは、通学路のこともあるが、協議の順番として準備段階に関することをもっと検討したいのではないか。統合してから検討するということになるのと、焦ってしまい噂話のようなことが出てくると思う。そこが地域としては揉めているところの一つなのだろう。いろいろな方から話を伺っている中でそのように強く感じている。大宮小のPTA会長として出席している中で、子どもたちのことを考えて統合に関しては賛成ではあるが、詳細なところが曖昧な中で賛成とはまだ言えない。スクールバスのことなどが決まらないと、大宮小のPTA会長の立場としては、協議は進められないと思っている。

〈廣瀬議長〉 他にご意見等がなければ、本日の議題資料に学校適正配置の修正案が示されており、この説明を事務局にお願いする。

〈伊藤委員〉 先ほど鹿倉委員からご意見のあったスクールバスや通学路に関する議論をせずに、議事を

進めてよいのか。

〈廣瀬議長〉 資料の中に関係する事項が含まれると思われるので、議題に移ることとしたい。

### 議題① 大宮地区学校適正配置（修正案）について

〈事務局〉 【 資料1に沿って説明 】

〈廣瀬議長〉 最低限今後の要望書で配慮すべきだろうが、この中でぜひ追加していくべきというものがあれば追記していくことになるだろう。ただ、ご理解いただきたいのは、必ずしも全てが実現するものでもないのだろう。いずれにせよ、資料を見る限り、いずれの小学校でも共通している課題はあるように見受けられる。資料内容を基にして、統合校の設置場所をどちらに検討するか考えるのは難しい。学校を起点にして子どもの教育環境を考えると、校舎・グラウンド・様々な設備については、両校で格差があると言えるほどにはないのではないか。あとは、通学路等のことを考えていくことになるのではないか。修正案についてどうか。

〈伊藤委員〉 実際格差は生じている。両校の全校児童数が大きく異なっており、現状格差となっていることは述べておきたい。

〈廣瀬議長〉 教育環境の設備の面ではあまり異なっていないというのが発言の趣旨である。確かに全般的にみれば、一番大きな違いはご指摘のところだとは思う。子どもの数に関しては、協議会当初の資料から複式学級のことは示されていた。これは子どもの教育環境としてはいかがなものか。個人的には、将来の子ども達に対する責任として、防がなければならない問題だと感じる。

〈前田副会長〉 第3回の協議に入り様々なご意見が出ているが、議論の原点は大宮台小の急激な小規模化の状況を解決するかどうかということだと思う。これを踏まえて、どちらの小学校に統合した方が良いのか建設的なご意見をいただき、協議を前に進めていきたい。

〈石井副会長〉 子どもの教育を原点として、大人としてどのような役割を担うべきかを考えていけば良いだろう。昔から子どもの教育は芋洗いに例えられる。大きな器に多くの芋を入れることで、芋同士がぶつかって綺麗になる。今の子どもたちは、子ども同士が少人数でぶつかることなく、他人のことを思いやる機会が少ないのではないか。悪循環になることを少しでも是正すべきだと思う。その意味でも少人数での教育はいかがなものか。

〈宮崎委員〉 大宮台小の複式学級になるということについて、少人数だから機械的に複式学級になるわけでは必ずしもないだろう。少人数でも単学級で運営している学校もある。少人数での教育は良いと思う。少人数であるために目が行き届くこともあるし、すべての教育活動を少人数だけで行うわけではない。例えば、近隣の学校と合同で活動するということもできるし、いろいろな学習の仕方がある。生活科や総合の学習では、地域と一緒にになって教育を進める学習方法もある。小さな世界だけで学んでいくということではない。寧ろこれからは地域と一緒に学びを進めていくべきだろうと思う。一人ひとりの子どもの学びの定着、子どもに合った個別学習も行いやすい。従って、子どもの数が少ないこと自体を良くないとするのはどうか。地域から見た学校ではなく、学校の子供達から見た地域はどうかという側面も重要である。子ども達が学校から出てすぐにいろいろな学びができる、保育所や公民館に行って学ぶことができる。大宮小では菊づくりで地域の方と交流を持っているといういろいろ伺っている。学校の近くに施設や機関があるからできることである。子どもたちの学びが学校から外に出ていくということも重視しなければならないと考える。

〈伊藤委員〉 先ほどの芋洗いの事例は一理あるが過去のものであって、現在は一人ひとりを適切に指導した方がよい。事務局に確認したいが、複式学級については正規職員ではなく非常勤講師

が配置されていて、ご心配される方も多いただろう。複式学級を行うのであれば、非常勤講師ではなく、経験豊かな教員を担任として配置することで目の行き届いたクラスになると思うがどうか。

〈事務局〉 現実的には、複式学級になった場合は片方の学年に正規教員を配置し、併せて予算措置をして非常勤講師を配置している。非常勤講師は、基本的には授業のみを行い、在校する時間が決まっている。時間外には正規教員が両学年を見ることになる。教職員の配置については、それぞれの学校運営上の判断によって行われている。

〈廣瀬議長〉 伊藤委員のご意見の通り上手く配置されれば、宮崎委員がおっしゃられたことは十分あると思うが、そこまでは市の現状を考えると難しいところだろう。確かに一般的に少人数の指導は悪くないだろう。今の少人数教育は昔の分校方式とは違っている。昔の分校は非常に小さい地域に設置されていて、本校舎まで7～8km離れているということがあった。そのようなことにはならないだろうが、ただ複式学級になると適正人数の学級や学校と比べ、課題もあるのではないかと思う。

〈石井副会長〉 人間に手の上で育てられた鳩は、自分で落ちたエサを拾うことができず飛ぶこともできない。人間の世界でも共通するところがあり、大人だけの世界で子どもを育てても、子どもが飛べない鳩ようになってしまうのではないか。学校での教育だけではなく、子どもを育てると考えた時にどうだろうか。

〈松坂委員〉 全体的に様々なご意見が出ているが、最初の11月24日の地元説明会の際に、市の学校適正配置に関する方針が示されて、この方針に沿って議論を進めることでスタートしている。この適正配置に関する考え方に対して議論が出ているようだ。この方針について反対だから検討すべきでないとするのか。第2回協議会で方向性が決まり、小学校の統合に協議が進んで、小中一貫についてどうするかも議題になった。その中で中学校は残すということになっている。一貫校化はともかくとして、小中学校をどうするかについて、これから議論を進めていくかということになっていたかと思う。今回の議論を伺っていると、統合することについては反対で、再び少人数の議論になっていて後戻りしていて、これでは何も決まらないように思う。もっと前向きに議論を進めていくのはどうか。また、第1回の地元代表協議会で学校適正配置の必要性について、既に合意が出ていると思うが、小学校の統合反対の方にはどのように理解されているのかわからない。そうすると、バラバラな意見が出て、この協議会はまとまらないことになりはしないか。

〈加藤委員〉 確認したいが、大宮台小は車での子どもの送迎が多い。仮に大宮小の位置で統合した場合に交通渋滞になるようなことはないか。実際に学校の裏通りのあたりなどは、車両の駐車はできるのか。

〈前田副会長〉 送迎については学校がお願いしているものではない。統合検討に関する付帯事項になるが、あまり詳細なことは考えるときりがない。

〈伊藤委員〉 正門付近は朝夕のうちは混雑することもあるようだが、近隣の保育所の送迎もあり、多少混雑することもあるかもしれないが、駐車場はあるだろう。

〈廣瀬議長〉 統合することになった場合に、混雑のなか大宮台小から十数台分の車両が増えるだけであって、吸収することは可能ではないか。今の松坂委員のご意見に関して、適正規模そのものについて議論したら、何年かかっても終わらないだろう。少人数での教育を良いとするご意見も多いし、恐らくいくら議論しても一致することはない。そうした場合に何をもちて判断していくか考えると、現状の教育制度をある程度前提としなければいけないのだろう。事務局の資料をみると、大宮台小の現在の3年生が5名となっており、複式学級になる可能性があり、これをなんとか防ぐことはできないかということで進めるという理解を

持っている。

〈伊藤委員〉 まだどちらの学校にするかという議論には至っていないこととは思うが、大宮小には現在175～176名の児童がいて、良い教育がなされていて、すばらしい子どもたちが大宮小から巣立っていると実感している。学校適正配置を考えるのであれば、適正に配置をするという意味で大宮小の位置で統合するのが良い。なぜ大宮台小まで通わせなければならないのかとさえ思っている。なぜ中学校を交えて、大宮台小の位置で統合する必要があるのかわからない。これが自分の意見である。

〈廣瀬議長〉 いずれにしても、最終的に各々の意見をきちんと述べていただかなければならないので、その時は大宮小と大宮台小以外には選択肢はないと思っている。統合の枠組みを考えるならば、千城小は除き、大宮小または大宮台小だろう。その中でどう絞り込んでいくか検討するのにあたって、今のご発言は伊藤委員のご意見ということになるだろう。

〈宮崎委員〉 少人数の教育について少し誤解があるかもしれないが、注意すべきなのは大宮台小は児童数が少ない中で成果をあげようと一生懸命取り組んでいる。児童数が少ないから教育効果がないということではない。現状で素晴らしい取組みがなされているというのが発言の本意である。学校で学ぶ子ども達にとって、地域は素晴らしい教材である。生活科や社会科などでは、学校から出て学ぶことがあるが、様々な機関があるところの方が非常に勉強がしやすく、大宮小が理想的な位置にあると思う。一方で大宮台小が廃校になった場合、通学距離が長くなることは問題ないのかとも思う。ローズタウンから通学するのに、大宮小までの最短の道がない。通学だけでなく地域に関連することになるが、最短コースとなる道が整備されることで、ローズタウンと北大宮台との連携もしやすくなると思う。当面の対応として、スクールバスを運行する手法もあるだろうが、将来的な事も考えて地域の問題も併せて、道が整備されると非常に良い。そういった検討も併せて行うべきではないかと思う。いずれにせよ大宮小の位置で統合することが自然だろうと思う。

〈伊藤委員〉 通学路の確保については、学校適正配置の議論が始まったときから、自治会長と教育委員会には個人的に意見を申し上げてきた。更科地区で事例があるように、多部田から大宮、千城、千葉大までの循環バスを通行するのはどうかと思う。民間事業者の協力を得て対応ができないか教育委員会にはお話ししてきているが、どうなっているか。第3セクターを活用する手法もあるし、宮崎委員のご指摘の通り道路を整備するというのもあるのではないか。

〈事務局〉 バス会社に話を伺ったところでは、ダイヤを変えたり、運行ルートを変えることは難しい感触だった。第3セクターの活用については改めて確認しておきたい。道路整備については、質問状に対する回答としてご報告しているが、市の担当課に要望内容を確認したところ、現時点では整備計画はない様子だった。改めて要望をあげていただければと思う。

〈松坂委員〉 大宮台小までの通学路の一部にゴルフ場の道を通行していることもあり、自治会としてかつて様々な方策を検討して道路整備に向けて活動した経緯があるようだが、地権者との協議等のこともあり、解決に至っていないようだ。一長一短で解決する問題ではないだろう。子どもの通学に関わるからといっても、すぐに実現するものでもないだろう。

〈鹿児島委員〉 昔、多部田から大宮台まで道路を整備する計画があつてとても喜んだ記憶があるが、反対があつて頓挫したことは聞いたことがある。何年かかるかわからないものだろう。以前の協議会で発言したが、現在来ているチャンスをつかまないと、また先々へ機会が逃げて行ってしまうようなことにならないか。こういったことも踏まえてご検討いただきたい。

〈廣瀬議長〉 大宮小で統合した場合はなんらかの対策が必要だろう。バスにするのか、通学路をどこに設定するのかということはあるが、統合の要望書にはバスか通学路を作りたいということ



を盛り込んだ方がよいか。

〈伊藤委員〉 ローズタウンから大宮台小に通っている児童は実際何名程度いるのか。

〈事務局〉 27名である。

〈伊藤委員〉 ローズタウンの子どもの数がこれから少なくなっていくと、少ない子どものために道路が整備されるのか、バスが実際利用できるものなのか。

〈廣瀬議長〉 教育を重視するために対応するのか、行政の姿勢によるだろう。実現するかはともかく、希望として要望には盛り込んでおいた方が良いのではないか。

〈事務局〉 道路の事について要望書に盛り込みたいというご意見について、現在取り組んでいる第3次の学校適正配置実施方針では、統合校の設置場所が合意された場合に教育委員会へ統合の要望書を提出いただく。要望書には、学校の統合場所に関する事項等、教育委員会が所管する事項のみとしている。道路の関係は市の担当課への事項となるため別の要望書を作ってくださいことになる。

〈廣瀬議長〉 通学路の問題はあるということはお知らせしておくべきだろう。

〈鹿兒島委員〉 当初から一貫して申し上げているのは、最も理想的な解決手段は、小中学校の児童生徒が全て利用できるスクールバスの導入だろうと思っている。

〈廣瀬議長〉 スクールバスについては今後協議を継続することとして、今回ではまだ結論は出ないだろう。

〈伊藤委員〉 前回の協議会の際に、会の継続期間をいつまでとするか各委員が持ち帰って慎重に検討すべきかどうか議長から提起があったが、いかにするか。

〈廣瀬議長〉 当初の想定では3月の協議会で決をとって要望書を作成するとしていたが、少なくとも期間を1か月延長して、メンバーはこのままで継続したいということは申し上げた。会を4月以降に伸ばすことで良いか、また同じ委員構成として良いかどうか。

〈加藤委員〉 自治会関係は問題ないと思うが、学校関係はどうか。

〈伊藤委員〉 委員構成のこのメンバーは第1回で承認されたものと認識している。

〈松坂委員〉 第1回の際には、スケジュールを3月までとしていた。自治会長として協議会に参加するのは3月の任期までかもしれないと申し上げたが、廣瀬会長から4月まで延長できるかという話があり、各委員で検討するという流れで、まだ結論が出ていなかった。

〈廣瀬議長〉 特段反対がなければ、この提案を承認いただきたい。ひとまずは6月頃の要望書の提出までという理解で現委員での協議会継続をお願いしたい。

〈本澤委員〉 全員が合意することは難しく、堂々めぐりの議論を長く続けるよりは、子ども達を早く安心させる意味でも5月ぐらいまでの開催でよいのではないか。

〈廣瀬議長〉 少なくとも4月には開催したいと思う。

## **議題② 議決の方法について**

〈廣瀬議長〉 議決の方法については、全会一致での決定は難しい。

〈宮崎委員〉 多数決での決定はしてほしくない。折り合いのつく条件を探るしかないだろう。

〈廣瀬議長〉 決定の仕方は、今回決めるのは難しいだろう。少なくとも4月にもう1回開催することになるだろう。

〈伊藤委員〉 議決の方法は今回議論しなくてよいか。

〈事務局〉 前提として、まず資料1のと通りの学校適正配置修正案に対して協議を行うのか、大宮小と大宮台小の2択とする案で良いか確認したい

〈廣瀬議長〉 それしかないだろう。その案について、多数決で決めることとして良いのか検討することになる。

- 〈伊藤委員〉 満場一致での決定が難しいとなるのであれば、全委員の3分の2以上の賛成多数で決定するということとし、3分の2以下となる場合は廃案とすることはどうか。
- 〈廣瀬議長〉 廃案にするということは、大宮地区における学校適正配置は見送るということになるがよいのか。
- 〈本澤委員〉 それよりも記名式の投票にするのが良い。投票する以上は、各所属団体の代表として責任を以て投票する意思の表れを出すべきである。
- 〈廣瀬議長〉 議決の方法について、多数決か3分の2（7名）以上とする案にするかについてどうか。
- 〈伊藤委員〉 協議会の当初から、元々統合を見送り学校適正配置を行わないという選択肢もあり得るということで承認もいただいているので、3分の2以上にならないければ廃案とするのが良い。
- 〈鹿倉委員〉 そこで可決されなくても、可決されない内容について改めて考えて、決議がとれるように検討していくということしかないのではないかと。
- 〈前田副会長〉 結果論として、過半数でも3分の2以上でも変わらないことになるのではないかと。
- 〈宮崎委員〉 数の議論をする前に、どちらが統合校の場所としてふさわしいか各委員の持論を伺って、そのうえで決め方を決定するということがよいのではないかと。個人的には条件付きの全会一致が良いと思っている。
- 〈鹿倉委員〉 もう既に各委員にどちらの学校という思いがそれぞれあると思う。現時点で伺うことはできるのか。とりあえず1回確認してみてもよいのではないかと。
- 〈廣瀬議長〉 最終的に委員一人ひとりからご意見を伺って、その後に質疑応答を踏まえ、評決することとしたい。最終案ができた後に少し手直ししてほしいということが出るかもしれないが、あくまで最終案として見た上での修正とすることをお願いしたい。確認させていただきたいが、議決方法についてはどうするかそれぞれの意見があると思うが、「過半数」、「3分の2以上の賛成」、「全会一致」のいずれかの選択肢に絞り、評決をとることとしたい。本日の議論をまとめると、統合小学校の設置場所候補は大宮小または大宮台小、議決の方法は次回決定することとし、各委員の意見を述べていただき、質疑応答の上投票するということがよろしいかと。
- 〈委員一同〉 【 異議なし 】

### (3) 連 絡

- ・ 次回は平成31年4月20日（土曜日）15：00から開催することとする。開催日1～2週間前を目途に改めて開催案内を各委員へ送付する。
- ・ 今回も議事要旨を公開するので、前回同様、各委員の修正確認を踏まえて、教育委員会企画課ホームページ上で議事要旨を公開する。FAXやメールによる方法でご修正確認の回答を受け付けたい。
- ・ 協議会を欠席する場合は、事務局に連絡していただき、その場合はできるだけ代理出席者を立てていただき、代理出席者の氏名を予め事務局へ伝えていただきたい。
- ・ 協議会に関する問い合わせは教育委員会企画課までお願いしたい。